1. 総論

【総括判断】「管内経済は、持ち直している」

項　目	前回（8年7月判断）	今回（8年10月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	**持ち直している**	⇨

（注）8年10月判断は、前回8年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、観光やイベント関連が堅調であるものの、物価上昇を背景に節約志向が続いていることなどから、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、電子部品・デバイスや生産用機械が改善していることなどから、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

項　目	前回（8年7月判断）	今回（8年10月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	**回復に向けたテンポが緩やかになっている**	↘
生産活動	持ち直しつつある	**持ち直している**	↗
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる	**持ち直しの動きに一服感がみられる**	⇨
設備投資	8年度は減少見込みとなっている	**8年度は減少見込みとなっている**	⇨
企業収益	8年度は増益見込みとなっている	**8年度は増益見込みとなっている**	⇨
企業の景況感	「下降」超となっている	**「下降」超となっている**	⇨
住宅建設	横ばいの状況にある	**緩やかに持ち直している**	↗

【先行き】

先行きについては、観光需要や生産活動を中心に、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の影響に加え、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

百貨店・スーパー販売は、百貨店では催事効果により客数が増加しているものの、スーパーでは飲食料品の動きが鈍いことなどから、全体では回復に向けた動きに一服感がみられる。コンビニエンスストア販売は、カウンターフーズに動きがみられるものの、米飯類の動きが鈍いことから、前年並みとなっている。ドラッグストア販売は、飲食料品に動きがみられることから、順調となっている。ホームセンター販売は、園芸用品等に動きがみられることから、堅調となっている。家電大型専門店販売は、エアコン等に動きがみられることから、持ち直している。新車販売は、持ち直している。主要観光地の入込客数は前年を上回っている。主要温泉地の宿泊客数は前年を上回っている。

（主なヒアリング結果）

- 8 月はお盆期間に帰省客や家族連れの来店が増加した。9 月は物産展などの催事が好調で来店客数が増加し、売上げは前年を上回った。（百貨店）
- 調理の手間を省ける惣菜や冷凍食品への需要は堅調に推移しているものの、スイーツや酒などの嗜好品を中心に買上点数が減少している。（スーパー）
- カウンターフーズ等の店内調理の商品は、キャンペーン等の効果により堅調に推移している。節約志向の高まりを受けて、カップ麺などへのシフトにより米飯類の動きが鈍い。（コンビニエンスストア）
- 顧客はより低価格の商品を選択する傾向が強まっており、PB 商品の需要が高まっている。（ドラッグストア）
- 夏物家電のほか、園芸用品やDIY 用品が売上げを伸ばした。大雨被害に伴う補修需要から雨どい、木材、土嚢等に動きがあった。（ホームセンター）
- エアコンは、安価なモデルに加え、省エネ新基準を満たした高単価モデルが売れている。（家電大型専門店）
- 一部車種の供給状況の改善が進み、受注を再開していることが売上増加の大きな要因となっている。（自動車販売店）
- 著名なプロスポーツ大会が開催され、開催期間は多くのファンが訪れた。大会開催後は利用客が増加し例年以上に好調。（娯楽）
- 昨年大阪・関西万博に集中した反動で今年は国内客が多くなっているほか、海外のメディアで金沢が訪れるべき場所として相次いで紹介されたことなどから海外からも注目が高まっている。（宿泊）
- 集客効果の高いイベントが開催されたことや、シルバーウィークの日並びが良かったため、国内客が例年より好調なほか、金沢観光から足を延ばす欧米インバウンドも増加傾向にある。（温泉地）
- 近隣の有名観光地への交通費が割引になるキャンペーンを例年より長く実施したところ、各地から観光客が増加した。（温泉地）

■ 生産活動 「持ち直している」

化学は、大宗を占める医薬品で、回復している。電子部品・デバイスは、スマートフォン向けや自動車向けで持ち直しつつあるほか、AI サーバー向けで増加していることなどから、全体では緩やかに持ち直している。生産用機械は、半導体製造装置、繊維機械、金属加工機械がいずれも増加していることなどから、全体では回復しつつある。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、ビル用が下げ止まりつつあるものの、住宅用が減少していることなどから、全体では弱い動きとなっている。繊維は、衣料向けを中心に弱含んでいる。

- 医薬品業界で不採算品目からの撤退が進む中、同成分品目の生産を続ける当社への需要は高まっており、既存商品の生産量が増加している。（化学）
- スマートフォン向けは、北米メーカーの新モデル向けが量産体制に入っているほか、旧モデル向けも高い生産水準を維持している。（電子部品・デバイス）
- 半導体製造装置は、生成AI 需要の高まりを背景にデータセンター向けの引き合いが増加。工場の拡張や工員増強を進め、生産量を拡大させる計画。（生産用機械）
- 繊維機械は、AI の急速な普及に伴い、ガラス繊維用織布準備機械の受注が大幅に増加している。（生産用機械）
- 住宅用は、住宅価格の高騰を背景とした住宅の狭小化・平屋化による窓数減少などから、受注量が減少している。ビル用は、都市部を中心に需要が回復基調にある。（金属製品）
- 中東情勢の影響による原材料の調達難から生産を抑制して以降、元の生産水準に戻っていない。（繊維）

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

有効求人倍率は引き続き高水準となっているものの、求人の面で一部に弱さがあることなどから、おおむね横ばいとなっている。新規求人数は前年を下回っており、新規求職者数は前年並みとなっている。雇用保険受給者実人員は前年並みとなっている。

- ➢ 新規採用が難しい中、社員の会社への愛着や働く意欲の向上を狙って、TVCM の放映を開始した。(繊維)
- ➢ 人手不足・高齢化が深刻で、需要の少ない平日は休館日を設けるところが多くなった。(宿泊)
- ➢ 専門知識や接客スキルが要求されるスタッフについて、人材確保に苦戦していたが、先般カムバック採用で 3 名確保することができた。(小売)
- ➢ 高齢者の求職者が増えている。ただし、体力や通勤・勤務時間などの制約が多く選択肢が限られるため、なかなか就職に結びつかないケースが多い。(公的機関)
- ➢ 8 月は暑さによる外出控えや大雨による交通への影響で窓口に来る求職者が減少した。(公的機関)

■ 設備投資 「8 年度は減少見込みとなっている」 (全産業)「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 製造業では、生産用機械器具などが増加となるものの、情報通信機械器具、化学工業などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。

○ 非製造業では、情報通信などが増加となるものの、運輸・郵便、金融・保険などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。

- ➢ 新工場建設や設備導入により、増加見込み。(生産用機械器具)
- ➢ 前年度の新工場建設と設備導入の反動により、減少見込み。(情報通信機械器具)
- ➢ 前年の物流施設開設の反動により、減少見込み。(運輸・郵便)

■ 企業収益 「8 年度は増益見込みとなっている」 (全産業)「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 製造業では、非鉄金属などが増益となるものの、窯業・土石製品、情報通信機械器具などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

○ 非製造業では、運輸・郵便などが減益となるものの、学術研究、専門・技術サービス、小売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全産業)「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 企業の景況判断 BSI は、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。なお、先行きは、全産業では 8 年 10-12 月期は「上昇」超、9 年 1-3 月期は「下降」超となる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「緩やかに持ち直している」

○ 新設住宅着工戸数でみると、緩やかに持ち直している。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

○ 前払金保証請負金額でみると、前年を下回っている。

■ 金融機関の貸出金 「前年を上回っている」

○ 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。

■ 企業倒産 「前年を下回っている」

○ 件数、負債総額ともに前年を下回っている。

■ 消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合) 「前年を上回っている」

○ 消費者物価指数でみると、前年を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回 (8 年 7 月判断)	今回 (8 年 10 月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	持ち直している	**持ち直している**	⇨	個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっており、生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
富山県	持ち直している	**持ち直している**	⇨	個人消費は、回復に向けた動きに一服感がみられており、生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
福井県	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	⇨	個人消費は、回復しつつあり、生産活動は、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。